

池田の地域に根ざした、元気なファンクラブに
ファンクラブ2011年定例総会 盛会に



■ 沢田町が
ら1000
150kmの
ところに志
賀、刈羽原
発がある。
地元の人と
交流しながら
現地調査
を。

■ FC二
ユースは全
国的にみて
もすばらし
い。地域の
出来事や住
民の要求、

ももこの 健 康 教 室

注目の「小規模多機能型 居宅介護施設」とは！

現在、池田町社会福祉協議会は、1丁目の旧上原商店跡地に「小規模多機能居宅介護施設」を建設しています。

この施設は、従来の特別養護老人ホームや介護老人保健施設と比べて、どのような違いや特徴を持っているのでしょうか。

1. 特別養護老人ホーム（「高瀬荘」、「ライフ」）は、身体や精神に重い障害があり長期に入所が必要になる方の介護施設です

2. 介護老人保健施設（「ライフ2」や「孝松館」）は、リハビリを含む日常生活動作訓練を行うとともに、在宅復帰を目的とした介護施設です

3. 小規模多機能居宅介護施設は次の4点の特徴を持っています

① 施設利用できる人は、池田町住民で登録を認められた人に限

■ 福島第一原発から300km離れている静岡で放射能が検出されている、もつと原発を考えなければならない。主な意見は次のようなもののです。

卷之三

■ アメリカと財界の使い走り内閣を変えなければ国民生活は良くならない。

■ TPP、消費税問題など国会情勢は流動的。国会解散・総選挙となる可能性が強いので、準備を早めよう。

ファンクラブ2011年定例総会が12月4日、池田町多目的研修センターで開催されました。この一年間は多くの出来事があり、ファンクラブもさまざまな活動をすすめてきた反映として、会員のみなさんから活発な討論が出されました。

新年度方針と役員を決定

あつてこそ安心

14日午後、池田町議会の一般質問を傍聴しました。以下は薄井孝彦、服部久子両議員の質問に対する感想です。

結論を言うと、町の回答は「周辺の町村の対応を待つて態度を決める」というものが目立ち、町としての主体性、独自性が無いに等しいというものでした。

米沢 加奈子

加奈子

(1) 放射能内部被曝問題

放射能内部被曝、②介護保険制度、③使いやすい住宅リフォーム制度、④子育て世帯を応援する町に、の4点を質問しました。

対応する、（同委員会が）立ち上がりがれば協力する」と答えました。薄井氏はさらに、「阪神淡路大震災、東日本大震災の教訓は『絶対安心』ということはない。『備えあつての安心』」と主張しましたが、これには全く同感です。

また、原発災害に関して、小児甲状腺ガンに予防効果の認められるヨウ素剤備蓄の予算化の要求に対し、周辺市町村は「国の施策を待つ。周辺市町村の状況を見て考える」と答え、「脱原発宣言」を町長に求めたことに対しでは、「現時点での脱原発宣言は拙速である」と回答、大いに失望しました。

対応する、（同委員会が）立ち上がれば協力する」と答えました。

薄井氏はさらに、「阪神淡路大震災、東日本大震災の教訓は『絶対安心』ということはない。『備えあつての安心』と主張しましたが、これには全く同感です。

また、原発災害に関して、小児甲状腺ガンに予防効果の認められるヨウ素剤備蓄の予算化の要求に対し、町は「国の施策を待つ。周辺市町村の状況を見て考えては、「現時点での脱原発宣言は拙速である」と回答、大いに失望しました。

うものでした。

③ 住宅リフォーム助成制度

リフォームの範囲は名の通り住宅に限る。外構工事、門、塀などは住宅でないので対象外。来年4月の実施に際して、申請が多ければ6ヶ月度に予算増額。

④ 子育て支援策

服部氏は、「池田町の子育て支援は近隣市町村より遅れている。入学準備金け名目からして入学前に交付を。義務教育は無償との理念から児童へのメガネ支援を」と求めました。しかし、これにも前向きな答弁はありませんでした。

私はただただ住民に冷たい行政を実感しました。

の公表。定点・定期測定は週一度、数値は公表する。さらに測定器は2個追加購入し貸し出しもする」といふもの。さらに、小学生が災害を学習する中で、自分たちが収穫した米150キロを南相馬市へ送つたことも明らかにしました。

② 介護保険制度問題



一般質問に立つ服部久子議員

会長 勅
山本久子
牛越邦夫
米沢加奈
服部守正
村端浩